

事業名		実行組合張事業促進費				作成日	年 月 日		
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	（1）産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興				事業分類	公的関与		
	主要施策	④ 農業生産基盤の整備				予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費	
個別計画名									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策								
	重点事項								
市民の参画・協働の手段									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）						
	農業施策を取りまとめる集落の代表者（実行組合長）		農家組織である実行組合長を通じ農家全戸に施策等の周知徹底及び取りまとめ等行うことで、迅速確実な各種農業の実施を行う事が出来る。						
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		農事謝礼金として各実行組合張に報償費（平等割 + 戸数割）を支払う						
事業期間		平成 年度 ~ 平成 年度（ 年間）				<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等									
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）			
直接事業費（千円）		5,748		5,287		5,056			
財源内訳	国・県支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源		5,748		5,287		5,056		
人件費（千円）		116		116		116			
内訳	職員（人・千円）		0.02 人	116	0.02 人	116	0.02 人	116	
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0	
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）			単位	26年度 （実績）	27年度 目標 実績		28年度 （目標）	29年度 （目標）
	①	実行組合数		組合	174	174	174	174	174
	②	実行組合長会等		回	5	5	5	5	5
	③								
設定理由									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	農家組織の活用で、農政上法統の伝達周知活動等が有効に行われる			
	説明	実行組合長には、協力を頂くので事務連絡等の謝礼は必要である			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	説明	実行組合長の協力があり、転作取りまとめや現地確認をはじめ、経営所得安定対策事業等の予定事業が円滑に実施できた。			
	説明	産地づくり対策事業（転作事業）については平成19年度からJAで行われてきたが、戸別所得補償制度の本格実施に伴い、今後（平成23年度以降）は、豊岐市へ移行することとなったため、これまで以上に実行組合長の協力は欠かせない。			
個別評価	妥当性	3	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	3	効率性	3	
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	減額をしつつ維持			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		構造改善加速化支援事業			作成日	28年 5月 23日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興			事業分類	2	公的関与	9
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産事業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ		推進施策						
		重点事項						
市民の参画・協働の手段		施策・事業企画段階からの市民関与						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	長崎県が定める基準に該当する組織等		「産業として成り立つ農林業経営」と「快適に住みやすく活力ある農山村」を構築するために、強い経営体の育成、高付加価値創出等による農業所得向上、意欲ある多様な就農希望者の就農定着、農山村地域を活性化する活動に必要な施設機械の導入を支援する必要がある。 そこで「ながさき農林業・農山村活性化計画」の振興方向に基づき、構造改善加速化支援事業を実施する。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		長崎県が定める基準に該当する営農組織等に対し補助する。壱岐市として下記の内容の事業を行った。 ① 壱岐市農業協同組合 たまねぎ省力化機械一式 ② H27アスパラガス生産組合 アスパラガスハウス A=4,050㎡（3戸） ③ 日高裕一 花卉ハウス A=1,572㎡（1戸）					
事業期間		平成 23年度 ～ 平成 27年度（5年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等		構造改善加速化支援事業実施要綱						
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）		
直接事業費（千円）		32,721		23,633		0		
財源内訳	国・県支出金		26,315		18,048			
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		6,406		5,585			
人件費（千円）		1,742		1,742		0		
内訳	職員（人・千円）		0.30 人	1,742	0.30 人	1,742	人	0
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	① 経営力向上支援事業		件	1	1	1		
	② 就農定着促進支援事業・経営革新支援事業		件	1	1	1		
	③ 地域活性化支援事業		件	1	1	1		
設定理由		事業取組み件数を指標とした。アスパラハウスを導入し、地域農業の中核となる施設園芸農家の経営確立と産地規模拡大を図る。JA壱岐市においては、たまねぎ省力化機械一式が導入し、機械化一貫体系による生産工程の省力化と、適期内の作業拡大面積の増加を図る。 また、天候の影響を受けにくい施設花卉栽培の規模拡大を行うことで、高品質な花卉の生産安定および収量の増加を図ることを目的に、花卉ハウスの導入を行う。						

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
説明	県は、「ながさき農林業・農山村活性化計画」に基づき、地域農業を担う経営体や組織の育成、都市と農村の交流、地域資源を活用した農村振興、「安全・安心」な県内農産物の生産・供給体制確立、意欲ある農林業者への支援等を促進ため、構造改善加速化支援事業を実施している。 吉岐市においても、総合計画に基づき農業振興のため当事業を活用し、担い手の育成と農業経営の支援を行う。支援にあたっては市の負担も求められている。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に定める施策「自然と共生し吉岐に根づく農業の振興」を図る上で、担い手の育成・確保や経営基盤の整備を本事業で実施することは施策実現のため必要である。 ・県独自の事業であり、離島である吉岐地域の振興を考えた事業要件にもなっている。 ・産地の維持と強化を図るため、住民の同意を得ることができる内容となっている。 ・農家がこの事業への関心が高い。 				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
説明	アスパラハウス0.4haが導入され、地域農業の中核となる施設園芸農家の経営確立と産地規模拡大が図られた。JA吉岐市においては、たまねぎ省力機械一式が導入され、機械化一貫体系による生産工程の省力化と、適期内の作業拡大面積の増加を図れた。 また、天候の影響が受けにくい施設花卉栽培の規模拡大を行うことで、高品質な花卉の生産安定および収量の増加を図ることを目的に、花卉ハウスの導入を行った。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・事業量に見合った担い手の育成・確保や経営基盤の整備ができた。 ・県補助事業のため、事業主体と県との中間役で事務負担はあるが、効率的な事業実施体制となっている。 ・全事業費を実施主体で負担することは難しいと思われる。 				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	今後、本市農業が発展するためには、地域農業を担う経営体や組織の育成、都市と農村の交流、地域資源を活用した農村振興、「安全・安心」な県内農産物の生産・供給体制確立、意欲ある農業者（新規就農・規模拡大）への支援等の促進が必要である。 平成28年度以降は更なる農業所得の向上と担い手の育成、地域資源を活用した農村振興を図るため「新構造改善加速化支援事業」を実施する。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		農業制度資金利子補給事業				作成日	28年 5月 20日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班			
	施策	<1> 自然と共生し杵岐に根づく農業の振興				事業分類	1	公的関与		
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援				予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産事業費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）			目的（どういう状態にしたいのか）						
	農業経営基盤強化資金 葉たばこ災害特別対策資金（市単） 借入者			効率的かつ安定的な農業経営が農業生産の相当部分を担う農業構造を確立するため、営農意欲と能力のある農業担い手の経営改善を図る						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		農業制度資金借入の利子について、県の利子補給に市が継ぎ足し農家の実質借入利率の軽減を行う。 農業経営基盤強化資金（スーパーL資金）はH22までの承認が7件あり、H23に新規に1件の承認を行なった。 また、平成22年産葉たばこ災害による農業経営の再建に資するため、杵岐市農業が貸し付けた災害特別対策資金の利子補給をすることとなり、後年度負担行為が承認された。平成22年産は平成27年度まで利子助成を行う。								
事業期間		平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等		長崎県農林部関係実施補助金等交付要綱、長崎県農業経営基盤強化資金利子助成費補助金実施要綱、杵岐市葉たばこ災害特別対策資金利子助成事業費補助金交付要綱								
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）				
財源内訳	直接事業費（千円）		299		299		83			
	国・県支出金		64		64		41			
	地方債									
	その他特定財源									
一般財源		235		235		42				
人件費（千円）		58		58		58				
内訳	職員（人・千円）		0.01 人	58	0.01 人	58	0.01 人	58		
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)			単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	農業経営基盤強化資金（スーパーL）		経営体	4	4	4	4		
	②	葉たばこ災害特別対策資金（22年産）		人	27	27	27			
	③									
設定理由	農業制度資金借入の利子について、県が利子補給した分に市が継ぎ足し助成を行った。									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
妥当性	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者にとって、農業制度資金は安心して農業経営を行う上で有効である。 ・ 本事業を進めるには、県補助事業を活用することは妥当である。 ・ この事業については、県についても拡大傾向にある。 			
有効性	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
有効性	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画に定める施策「自然と共生しき岐に根づく農業の振興」を図る上で、農業制度資金利子補給を本事業で実施することは施策実現のため必要である。 ・ 農家がこの事業への関心が高いため、事業の継続は妥当である。 			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
達成度	説明	農業制度資金借入の利子について、県が利子補給した分に市が継ぎ足し助成を行った。			
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	効率性	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業量に見合った利子助成ができた。 ・ 県補助事業のため、利子補助助成対象者と県との中間役でコスト削減はできないが、効率的な事業実施体制となっている。 		
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		苓岐市認定農業者協議会活動支援事業				作成日	28年 5月 20日		
実施方法		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	（1）産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し苓岐に根づく農業の振興				事業分類	公的関与		
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援				予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費	
個別計画名									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策								
	重点事項								
市民の参画・協働の手段									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	認定農業者		目的（どういう状態にしたいのか）				苓岐市における農業の担い手の確保・育成	
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	次の事業を担う協議会に対し、事業費の一部を補助する。 <input type="checkbox"/> 新規担い手（認定農業者）の掘り起こし活動 <input type="checkbox"/> 先進地農業研修 <input type="checkbox"/> 各種研修会への参加 <input type="checkbox"/> 関係機関との意見交換会							
事業期間	平成 16年度 ～ 平成 年度（ 年間）				<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等									
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）			
直接事業費（千円）		2,685		2,688		2,941			
財源内訳	国・県支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	2,685		2,688		2,941			
人件費（千円）		583		583		583			
内訳	職員（人・千円）	0.10人	583	0.10人	583	0.10人	583		
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）			単位	26年度 （実績）	27年度 目標 実績		28年度 （目標）	29年度 （目標）
	①	新規認定農業者数（経営体）		人	22	8	34	10	10
	②	認定農業者数（経営体）		人	261	269	295	305	315
	③								
設定理由	新規認定農業者の掘り起こしを行うとともに、認定更新についても推進をし、地域農業の担い手として確保する。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	本市農業の中核的な担い手としての意識形成を図るため、吉岐市認定農業者協議会を組織し、先進地農業研修や各種研修会開催等を行う。また上部団体である県協議会が主催する会議等へも参加し地域の担い手としての活動意欲の向上に資する。				
	説明				
達成度	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
有効性	国の農業施策として担い手への助成に転換している現在、本市の農業の中核を担う認定農業者の確保・育成は重要でありその団体への補助は必要。				
	説明				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
達成度	認定農業者の数的確保については、認定取下げや未更新者があるが、経営安定所得対策（ナラシ対策）の必須要件となること等から新規認定及び集落営農組織の法人化等により34経営体と大幅に増となった。				
	説明				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
効率性	認定農業者の意向を重視し質のある組織づくりを行うことが必要となる。会員負担も当然なされているが、活動補助を行うことで、より活発な活動へ誘導することが可能となり、地域の牽引車としての意識付けがなされる。				
	説明				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	今後の農業振興をはかるためには、担い手の育成・確保が重要施策として位置づけることが必要であり、更に推進することにより吉岐農業振興を図る。			

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		担い手育成総合支援協議会補助金				作成日	28年 5月 20日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班			
	施策	<1> 自然と共生しぎ岐に根づく農業の振興				事業分類	1	公的関与	7	
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援				予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費		
個別計画名	ぎ岐市農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段		施策・事業の企画段階からの市民関与								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）							
	担い手（認定農業者及び一定の要件を備えた集落営農）		農業経営基盤強化促進法が目指す効率的かつ安定的な農業経営の育成など「ぎ岐市農業経営基盤強化の強化の促進に関する基本的な構想」が掲げる担い手の確保・育成により、地域農業の振興に寄与する。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）									
○強い経営力を持った農業経営体の育成・確保のための活動を行う。 ○認定農業者については、経営改善・能力向上支援、農業法人化設立支援、農地の利用集積促進を図る。 ○集落営農組織については、特定農業団体への誘導等を行う。集落営農組織が無い地域においては、設立に向けた支援を行う。										
事業期間		平成 17年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等										
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）				
直接事業費（千円）		1,000		1,000		1,000				
財源内訳	国・県支出金	500		500		500				
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源	500		500		500				
人件費（千円）		2,332		2,332		2,332				
内訳	職員（人・千円）	0.40 人	2,332	0.40 人	2,332	0.40 人	2,332			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)			単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	認定農業者数		経営体	260	269	295	305	315	
	②	特定農業団体（法人）数		団体	38	38	38	38	38	
	③									
設定理由	地域の農業の中核を担う「認定農業者」及び「特定農業団体（法人）」について、本市農業の発展を図るため育成する。									

【 1 次 評 価 】						
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	国から示された、「経営所得安定対策等大綱」において、事業対象者を担い手（認定農業者及び特定農業団体）に絞ったことから、国が示す担い手へ誘導する本事業は妥当である。					
	説明					
達成度	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
効率性	総合計画に定める主要施策「担い手の育成と農業経営支援」を図る上で、担い手の育成・確保を推進することは施策実現のため必要である。また、今後も国において担い手に対する施策の集中化が行われることから、事業を継続し、更なる担い手の育成・確保を図ることは、本市農業の発展を図るうえで有効である。					
	説明					
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか		<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	認定農業者については、高齢化等により再認定が進まなかったり、規模縮小する農家が増加しており、目標を達成することができなかった。しかしながら、今後の岩手県農業の振興発展を図るため、今後も新規認定農業者の掘り起こし、再認定を進めていく。					
	説明					
個別評価	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
総合評価	認定農業者及び特定農業団体の確保が計画どおり達成され、事業量に見合った成果が得られた。また、事業実施体制については、担い手育成関係機関が一体となって取り組んでいるため、効率的である。					
	説明					
総合評価	妥当性		有効性		達成度	
	4		4		3	
総合評価	効率性		達成度		効率性	
	4		3		4	
4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分						
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標		認定農業者制度の普及・推進、集落営農に係る合意形成等、各種推進活動を行うとともに、担い手等の確保につとめ、経営能力の向上や経営安定などの経営改善支援、経営の発展段階に応じた法人化の推進、集落営農の組織化・法人化の推進などに取り組む。さらに、品目横断的経営安定対策の対象となるよう認定農業者への農地集積による規模拡大や対象となる集落営農の確保を緊急かつ協力で推進する。			

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		土地利用型農業定着促進事業			作成日	28年 5月 24日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興			事業分類	1	公的関与	7
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段		施策・事業の企画段階からの市民関与						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	長崎県が定める基準に該当する組織		実需者ニーズに対応した高品質麦・大豆等の生産と、それに対応した生産・流通体制の支援を目的とする。 又、平成18年度からは品目横断的経営安定対策に対応した産地づくりの支援を目的とする。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		実需者ニーズに対応した高品質麦・大豆等の生産と、それに対応した生産・流通体制の支援を目的とする。 又、平成18年度からは品目横断的経営安定対策に対応した産地づくりの支援を目的とする。 ○地場産麦・大豆等活用推進対策事業					
事業期間		平成 13 年度 ～ 平成 27 年度（ 15 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等		土地利用型作物需要開発事業費補助金 土地利用型作物需要開発事業実施要綱						
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）		
直接事業費（千円）		1,668		1,966				
財源内訳	国・県支出金		1,390		1,482			
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		278		484			
人件費（千円）		2,323		2,323				
内訳	職員（人・千円）		0.40 人	2,323	0.40 人	2,323	人	
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	ソフト事業	件	0	0	2		
	②	ハード事業	件	2	2	1		
	③							
設定理由								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	農業者にとって、土地利用型農業定着促進事業への関心は高い 本事業を進めるには、県補助事業を活用することは妥当である			
	説明	総合計画に定める施策「自然と共生した吉岐に根づく農業の振興」を図る上で、高品質な麦・大豆等の生産を本事業で実施することは施策実現のため必要である。 農家がこの事業に関心が高いため事業の継続は有効である			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	説明	本事業により、実需者ニーズに対応した高品質な麦・大豆等の生産と、それに対応した生産・流通体制推進を図った			
	説明	補助事業のため、事業主体と県との中間役でコスト削減は出来ないが、効率的な実施体制となっている			
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止					
	意見等						

事業名		園芸ブランド力強化対策事業			作成日	28年 5月 19日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し吉岐に根づく農業の振興			事業分類	1	公的関与	9
	主要施策	①生産の振興と吉岐ブランドづくり			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本ー！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	規模拡大農家（部門毎の拡大も含む）または新規就農者						
	目的（どういう状態にしたいのか）	園芸作物の振興を図り、吉岐ブランドの確立を図るとともに、新規就農者の経営確立を図る。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		○事業目的 園芸作物に関する施設等の助成を行うことによりブランド化が図られるとともに、新規就農者の経営確立を図る。 ○事業内容 補助率 1/4（農業者の組織する団体） 施設園芸用冷蔵庫 500,000円×1/4×3基=375,000円 ため池 300,000円×1/4×1箇所=75,000円 水中ポンプ 500,000円×1/4×1箇所=125,000円 ボーリング 1,000,000円×1/4×1箇所=250,000円 小規模ハウス 400,000円×1/4×10箇所=1,000,000円						
事業期間	平成 27年度 ～ 平成 29年度（3年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等	吉岐市農業振興対策事業実施要領 吉岐市農業振興対策事業費補助金交付要綱							
事業費 / 年度	平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）			
直接事業費（千円）	350		442		850			
財源内訳	国・県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源	350		442		850		
人件費（千円）	290		290		290			
内訳	職員（人・千円）	0.05 人	290	0.05 人	290	0.05 人	290	
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0	
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	新設（増設）施設園芸面積	a	41	50	19	50	50
	②	市内外直売所販売額	千円	58,854	60,000	76,564	60,000	60,000
	③							
設定理由	新規・規模拡大の園芸農家及び新規就農者の育成、産直コーナーでの販売額を増加させることにより園芸ブランド化を目指す。							

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
説明	農業生産資材等が高騰している中で、国・県補助の対象とならない水源の確保、付帯設備等の整備・機械の導入を図ることは、園芸振興及びブランド化を推進することは妥当である。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
説明	農業生産資材等が高騰している中で、国・県補助の対象とならない水源の確保、付帯設備等の整備・機械の導入を図ることは、園芸振興及びブランド化を推進するだけでなく、認定農業者及び新規就農者の育成につながり有効である。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
説明	新設（増設）施設園芸面積の目標は達成できなかったが、施設園芸面積については、農業者の高齢化等により減少しているにもかかわらず、施設園芸面積を維持している。また、島内産外直売所の販売額については前年比増となっている。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
説明	園芸施設・機械等の導入を支援することにより、認定農業者、新規就農者の育成につながり、園芸作物のブランド化を図ることができる。				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	園芸ブランドの確立を図るためには、施設園芸作物の振興と併せて産直野菜等の販売にも力を入れ、壱岐ブランドの確立を図る。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		輝く園芸産地実現緊急支援事業			作成日	28年 5月 23日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し吉岐に根づく農業の振興			事業分類	2	公的関与	9
	主要施策	③担い手の育成と農業経営支援			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産事業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段		施策・事業企画段階からの市民関与						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	長崎県が定める基準に該当する組織等		①園芸生産基盤の整備と先進技術導入による生産性向上等により、強い経営力を持った園芸経営体の育成 ②安全・安心で高品質園芸作物の生産体制を確立し、トップ園芸産地の育成 ③加工・業務用等ニーズに対応した産地や新規品目導入による新産地を育成し、地域の活性化を図る					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		長崎県が定める基準に該当する集落営農組織等に対し補助する。 ①吉岐地区アスパラガス第17生産組合・・・アスパラガス新植 46.2a ②吉岐地区いちご第13生産組合・・・いちご昇温抑制資材 101.6a					
事業期間		平成 23年度 ～ 平成 27年度（5年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等		輝く園芸産地実現緊急支援事業実施要綱						
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）		
直接事業費（千円）		2,248		1,625		0		
財源内訳	国・県支出金		1,905		1,277			
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		343		348			
人件費（千円）		1,162		1,162		0		
内訳	職員（人・千円）		0.20人	1,162	0.20人	1,162	人 0	
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人 0	
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 目標 実績		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	① 園芸産地強化対策事業		件	4	2	2		
	② 先導的園芸経営体育成支援事業		件	1	0	0		
	③ 新産地育成支援事業		件	0	0	0		
設定理由		○アスパラガスの新改植事業により、農業経営の安定が図られ、産地拡大と地域農業の発展に寄与できる。 ○いちごの昇温抑制資材の導入により、春先の高温による品質低下、早熟小玉化を防ぎ、結果として安定した栽培・出荷が可能となる。						

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・農業者にとって、輝く園芸産地実現緊急支援事業への関心は高い。 ・本事業を進めるには、県補助事業を活用することは妥当である。 ・この事業については、県についても推進している。 			
有効性	施策の実現のため必要な事業か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に定める施策「自然と共生し吉岐に根づく農業の振興」を図る上で、園芸産地の維持・強化を本事業で実施することは施策実現のため必要である。 ・産地の維持・強化を図るため、住民の同意を得ることができる内容となっている。 ・園芸農家のこの事業への関心度は高い。 			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
説明	本事業で、アスパラガスの新改植を実施したことにより、農業経営の安定が図られ、産地拡大と地域農業の発展に寄与できた。また、いちごの昇温抑制資材の導入により、春先の高温による品質低下、早熟小玉化を 방지、結果として安定した栽培・出荷が可能となった。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
	説明	<ul style="list-style-type: none"> ・事業量に見合った園芸産地の維持・強化推進ができた。 ・県補助事業のため、事業主体と県との中間役でコスト削減はできないが、効率的な事業実施体制となっている。 ・全事業費を実施主体で負担することは難しいと思われる。 			
個別評価	妥当性	4			4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	有効性	4			
	達成度	4			
	効率性	4			
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	今後、本市農業が発展するためには、地域農業を担う経営体や組織の育成、都市と農村の交流、地域資源を活用した農村振興、「安全・安心」な県内農産物の生産・供給体制確立、意欲ある農業者への支援等の促進が必要である。 平成28年度以降は農業所得の向上と更なる園芸産地の維持拡大を図るため「未来を創る園芸産地支援事業」を実施する。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		地域肉用牛活性化プロジェクト推進事業				作成日	28年 5月 25日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班	
	施策	<1> 自然と共生し舌岐に根づく農業の振興				<1>	事業分類	12	公的関与
	主要施策	①生産の振興と舌岐ブランドづくり			①	予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費	
						項	農業費		
						目	畜産業費		
個別計画名									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策								
	重点事項								
市民の参画・協働の手段									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	肉用牛飼育農家、和牛部会等			目的（どういう状態にしたいのか）				
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	農業生産活動の活性化と担い手組織の育成、後継者の就農等を推進し、舌岐牛の生産基盤を活性化を図る。また、舌岐牛の市場性を向上させるとともに産地間競争に耐えうる子牛生産地を確立することで、肉用牛飼育農家の維持および経営改善を促進する。 粗飼料基盤に立脚した肉用牛生産を推進し併せて集落営農活動に肉用牛生産活動の積極的な導入を推進する。 1. 淘汰更新による機能向上推進 推進頭数 240頭、補助単価 5万円 / 頭 年度内に当該淘汰対象牛を出荷、後継牛を導入（購入・自家保留）して繁殖牛頭数を維持した場合 2. 遊休及び低未利用施設の利活用推進 推進箇所数2箇所、補助率2/5 補助額上限200万円/箇所 利用中止及び低利用等の施設を共同利用等する場合、同施設の増改築及び機能復旧利活用する。 3. 緊急増頭対策事業 推進頭数1,100頭、補助単価 1万円 / 頭 市内肥育農家の舌岐産素牛購入頭数を支援対象とする。 4. 舌岐牛ブランド・アップ推進事業 1,000千円/年間 舌岐牛販売促進にかかる広告・宣伝等の事業							
事業期間	平成 26年度 ～ 平成 28年度（3年間）				<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等									
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）			
直接事業費（千円）		16,590		14,767		23,500			
財源内訳	国・県支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	16,590		14,767		23,500			
人件費（千円）		583		583		583			
内訳	職員（人・千円）	0.10人	583	0.10人	583	0.10人	583		
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)			単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	淘汰更新による導入頭数		頭	201	240	156	240	240
	②	舌岐産素牛の導入頭数		頭	529	850	475	650	650
	③								
設定理由	淘汰更新による導入頭数・舌岐産素牛の導入頭数を成果指標とした。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	肉用牛は農業産出額全体の7割を占める吉岐農業の基幹作目です。吉岐市内の肉用牛生産について機能強化対策を講じることは、吉岐経済に欠かせないものです。				
	説明				
達成度	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
有効性	吉岐市農業協同組合が設定している肉用牛振興目標 繁殖牛8000頭体制の達成にむけて、緊急対策が急務となっている。				
	説明				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
達成度	子牛・成牛共に価格が高騰し、その影響で事業取組みの見合わせもあり一部未達成となった。				
	説明				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
効率性	肉用牛販売農家、吉岐市農協それぞれが十分に負担しており、民間の能力・資金が活用されている。				
	説明				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	吉岐農業にとって肉用牛は大きな柱であり、経済的および地域内資源の循環・有効活用など環境的にも大きな役割を担っており、今後とも維持・発展を支える対策は大変重要である。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		和牛共進会（壱岐市和牛振興大会）支援事業				作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興				<1>	事業分類	1	公的関与	9
	主要施策	①生産の振興と壱岐ブランドづくり				①	予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）							
	畜産農家、生産者団体		本市農業の基幹作物である和牛の改良度を検証するとともに、肉用牛の振興目的として開催される地区和牛共進会及び市和牛共進会を支援し、優良な繁殖雌牛の確保と産地銘柄の確立することを目的とする。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		和牛生産者が一体となり、肉用牛農家の生産意欲の高揚と経営安定を図り、効率的な生産につながる事を目指し実施する。 それにともない、所要の経費の助成を行った。							
事業期間		平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等										
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）				
直接事業費（千円）		2,089		5,366		5,686				
財源内訳	国・県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源		2,089		5,366		5,686			
人件費（千円）		583		1,166		583				
内訳	職員（人・千円）		0.10 人	583	0.20 人	1,166	0.10 人	583		
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)			単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	実績		回数	1	2	2	1	3	
	②									
	③									
設定理由		和牛共進会（振興大会）の応援（開催）回数を目標値とした。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	優良な繁殖雌牛の確保と産地銘柄の確立のため、関係団体で組織される推進協議会等が主催し畜産農家の参加により実施される。				
	畜産振興には「牛づくり、草づくり、人づくり」を基本とした取り組みを実施する中で、肉用牛の振興目的として開催される共進会（振興大会）は、吉岐牛ブランドの確立に寄与している。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
効率性	計画通り実施され、成果が達成された。				
	コストや業務量に見合った成果が得られたか <input checked="" type="checkbox"/> 得られた <input type="checkbox"/> 一部得られていない <input type="checkbox"/> 得られていない 手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか <input checked="" type="checkbox"/> 余地はない <input type="checkbox"/> 一部余地がある <input type="checkbox"/> 余地がある 生産者団体が事業経費も負担し、事業開催の主体ともなって事業が展開された。				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	肉用牛の振興と、優良な繁殖雌牛の確保と産地銘柄の確立のためには和牛共進会を支援することが大切である。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		長崎県家畜導入事業				作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興				<1>	事業分類	1	公的関与	9
	主要施策	①生産の振興と壱岐ブランドづくり				①	予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費		
						項	農業費			
						目	畜産業費			
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	畜産農家								
	目的（どういう状態にしたいのか）	肉用牛の増頭対策事業として、導入にかかる資金に対する利子補給による支援を行い、経営規模の拡大に資することを目的とする。								
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	事業は、増頭タイプ（県100,000円、市50,000円）、維持タイプ（県50,000円、市50,000円）で支援する仕組みとなっており、実績により補助金を壱岐市農協へ交付し、壱岐市農協は預託期間満了時に貸付金元利合計額から補助金額を差し引いた額を預託農家から返済してもらう仕組みとなっている。（長崎県単独事業）								
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度（ 年間）		<input type="checkbox"/> 期間設定なし							
根拠法令・要綱等	長崎県家畜導入事業実施要綱 壱岐市農業振興対策事業補助金交付要綱									
事業費 / 年度	平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）					
直接事業費（千円）	30,718		16,200		40,000					
財源内訳	国・県支出金	21,770		9,850		22,500				
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源	8,948		6,350		17,500				
人件費（千円）	583		583		583					
内訳	職員（人・千円）	0.10 人	583	0.10 人	583	0.10 人	583			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)		
	①	事業導入頭数	頭	190	262	127	262	190		
	②									
	③									
設定理由	増頭・維持が要件となることから、導入頭数を目標に設定する。									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	県と市で、経営規模の拡大計画に対して、導入する経費の補助であり、生産拡大を促進する。			
	説明	県単事業の導入であり、増頭・維持が要件となっている。			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	説明	牛価高騰により販売意欲が高まり、育成・導入が減少したため成果指標は未達成となった。			
	説明	事業主体は生産者団体が担っており、効率的な事業事務となっている。			
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価	A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	長崎県家畜導入事業実施要綱の改正にともない、増頭および維持に取り組む。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		土地改良施設維持管理適正化事業			作成日	28年 5月 17日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	（1）産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し舌岐に根づく農業の振興			事業分類	2	公的関与	9
	主要施策	④ 農業生産基盤の整備			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名		土地改良施設維持管理適正化事業						
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策	（1）サービスの向上のための事務事業等の見直し						
	重点事項	③ 公共施設の適切な設置・運営						
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	土地改良施設の維持補修		土地改良施設整備補修のための資金を造成し、この資金を利用して、土地改良施設の定期的整備補修を行う土地改良施設維持管理適正化事業を実施し、土地改良施設維持管理者の意識の昂揚を図るとともに、土地改良施設の機能の保持と耐用年数の確保を図るため、施設の定期的な維持補修を行う土地改良区等の資金の造成に対して助成をする。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		1地区の資金造成期間5ヶ年とし、事業費の1/5ずつを下記負担率により5ヶ年均等に造成し、土地改良施設の維持補修を行う。 0% 国 30% 県 30% 市 30%」但し、事業参加者は事業実施年度に事業費の10%を負担する。 「国3					
事業期間		平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等		土地改良施設維持管理適正化事業実施要項及び同実施要領						
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）		
直接事業費（千円）		31,000		10,500		0		
財源内訳	国・県支出金		18,600		6,300		0	
	地方債							
	その他特定財源		3,100		1,050			
	一般財源		9,300		3,150		0	
人件費（千円）		2,332		1,749		1,166		
内訳	職員（人・千円）		0.40 人	2,332	0.30 人	1,749	0.20 人	1,166
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）		単位	26年度 （実績）	27年度 目標 実績		28年度 （目標）	29年度 （目標）
	①	工事進捗率	%	100	100	100	100	100
	②							
	③							
設定理由								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	地域の土地改良区あるいは水利組合からの要望により事業により実施している事業であるので、ニーズは十分反映されている。改修工事ではあるが、数年に一度あるかないかの工事である為、国や県の補助金等で行政(市)が実施しないと、地元だけでは経済的・公共性から不可能である。				
	施策の実現のため必要な事業か 目的を達成するための事業内容となっているか 施策の中で類似・重複した事務事業がないか 事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか 成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	当初計画どおり事業実施されている。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか 手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	設計業務については、委託する事により効率的で円滑な事業実施となっている。				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	市内全域において、数多くの基盤整備事業が実施され、今後益々施設の老朽化が進む事は明らかである。本事業への需要が拡大すると思われるので、今後も積極的に本事業に取り組んでいく			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		多面的機能支払交付金事業（旧農地・水）			作成日	28年 5月 17日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	（3）自然を生かした、環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～			(1)	班名	農村整備班		
	施策	<1>豊かな自然環境の保全と生活環境の創造				<1>	事業分類	12	公的関与
	主要施策	①自然環境の保全と活用			③		予算費目	会計	一般会計
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input checked="" type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				予算費目	款	農林水産業費	
個別計画名									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策	(6) 市民参加の促進と支援							
	重点事項	③ 市民参加の促進と活動支援							
市民の参画・協働の手段		当事業は、農業者だけでなく地区住民の参画を促進する。							
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）						
	誰を）農業者、地域住民及び関係団体 何を）農用地、農業用排水路、農業用道路等		農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにより、農業・農村の有する多面的機能が今後とも適切に維持・発揮されるようにするとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しする。						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		多面的機能支払交付金は、農地維持支払交付金と資源向上支払交付金に分かれている。 農地維持支払交付金は、事業実施主体により地域共同による農用地、水路、農道等の地域資源の基礎的な保全管理活動及び地域資源の適切な保全管理のための推進活動に取り組む広域活動組織又は活動組織に対して交付される交付金をいう。具体的には、農地法面等草刈りや水路の泥上げ等管理作業に対する日当支払など。 資源向上支払交付金は、事業実施主体により地域資源の質的向上を図る共同活動及び施設の長寿命化のための活動等に取り組む広域活動組織又は活動組織に対して交付される交付金をいう。具体例として水路・農道・ため池の軽微な補修や更新など。 農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対して支援するというもの。							
事業期間		平成 24年度 ～ 平成 28年度（5年間）					<input type="checkbox"/> 期間設定なし		
根拠法令・要綱等		多面的機能支払交付金実施要綱及び要領（平成26年度から制度の変更による）							
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）			
直接事業費（千円）		98,101		107,858		100,667			
財源内訳	国・県支出金	73,576		81,393		75,999			
	地方債								
	その他特定財源								
一般財源		24,525		26,465		24,668			
人件費（千円）		11,616		11,616		11,616			
内訳	職員（人・千円）	2.00人	11,616	2.00人	11,616	2.00人	11,616		
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）		単位	26年度 （実績）	27年度 目標 実績		28年度 （目標）	29年度 （目標）	
	①	対象農用地面積	ha	1,311	1,400	1,465	1,465	1,500	
	②								
	③								
設定理由	今年度は、梅ノ木地区保全組合（芦辺土地改良区）が新規加入したため、目標を上回った。28年度は、最終年度であり現状維持としている。29年度においては、当田地区保全組合（仮称）（郷ノ浦東部土地改良区）が新規加入を予定している。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	説明 過疎化・高齢化が進行する中で、農業の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、農業者と地域住民や関係団体との協力体制を整備し、将来にわたり国民がその恵沢を享受できた。				
	施策の実現のため必要な事業か 目的を達成するための事業内容となっているか 施策の中で類似・重複した事務事業がないか 事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
達成度	説明 我が国の農村においては、過疎化・高齢化の進行により共同で行う農業資源の管理活動の低迷、農業生産活動の維持が困難になっている地域の増加が課題となっている。このような状況を踏まえて、農業の有する多面的機能の発揮を促進するため、平成26年度から多面的機能支払、中山間地域等直接支払及び環境保全型農業直接支払からなる日本型直接支払を創設しているが、これらの支払の対象となる農業者団体等による各種の取組を促進していくことは、農業の有する多面的機能の現在及び将来における適切な発揮を期する上で重要な意義を有している。				
	事業は当初の計画どおり実施されたか 成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
効率性	説明 農業の有する多面的機能は、その発揮により市民に多くの恵沢をもたらすものであり、将来にわたって市民がその恵沢を享受することができるよう、その発揮に必要な農用地、農業用水路、農業用道路等の維持・管理を的確に行い、継続した取組を行った。				
	コストや業務量に見合った成果が得られたか 手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
個別評価	妥当性 4		有効性 4		4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度 4		効率性 4		
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了				
	今後の改革・改善目標 多面的機能支払交付金対象活動組織数は、96組織と細分化されている状況にある。今後、過疎化・高齢化が進行する中で、活動に伴う事務処理が非常に困難であるとの相談が寄せられている。協定対象農用地面積を減らさないためには、組織間の合併も視野に入れて指導していく必要がある。				

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		有害鳥獣被害防止対策事業				作成日	28年 5月 23日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班		
	施策	<1>豊かな自然環境の保全と生活環境の創造					事業分類	1	公的関与	7
	主要施策					予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費		
					項	農業費				
						目	農業振興費			
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	吉岐地域鳥獣被害防止対策協議会			目的（どういう状態にしたいのか） 農作被害のため、有害鳥獣であるカラスの駆除を行う。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	市は、鳥獣（カラス）による農作物等被害を防止するため、吉岐地域鳥獣被害防止対策協議会に対して、鳥獣（カラス）捕獲委託を行う。 ○駆除に於ける計画策定 ○有害鳥獣であるカラス駆除に際しての集中駆除（年3回） ○猟友会のハンターによるカラス駆除の実施（1,000円/1羽）								
事業期間	平成 年度 ~ 平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし							
根拠法令・要綱等										
事業費 / 年度	平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）					
直接事業費（千円）	2,632		1,698		3,113					
財源内訳	国・県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源	2,632		1,698		3,113				
人件費（千円）	58		58		58					
内訳	職員（人・千円）	0.01 人	58	0.01 人	58	0.01 人	58			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)		
	①	銃器によるカラス駆除	羽	2,494	3,300	1,698	3,000	3,000		
	②									
	③									
設定理由	吉岐地域鳥獣被害防止対策協議会によるカラス駆除の実績とした。									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	カラスによる農作物被害は果樹、飼料作物等全般にわたり、農家においても驚かし等で対策を取っているが、地ガラスに加え渡りガラスも飛来するので、倉庫に保管している飼料にも被害が及ぶなど個人では手に負えない状況である。そこで、市は県から移譲を受けた有害鳥獣駆除申請の許可事務を行い、年2回、第1期（4/20～6/18）、第2期（9/1～10/31）の設定実施と狩猟期間（11/15～2/15）にカラスの集中駆除を行った。住民からの通報にも早急に対応できる体制を取っている。			
	説明	農作物に被害を及ぼす有害鳥獣であるカラスの被害対策については、各農家において対策を講じるのは限界がある。ハンターの銃器使用による駆除が有効である。			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	説明	駆除数は計画に達しなかったが、農家からの駆除要望の連絡があればハンターに連絡して対応してもらうなど組織の機能は十分に達した。			
	説明	コストや業務量に見合った成果が得られたか <input checked="" type="checkbox"/> 得られた <input type="checkbox"/> 一部得られていない <input type="checkbox"/> 得られていない 手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか <input type="checkbox"/> 余地はない <input type="checkbox"/> 一部余地がある <input type="checkbox"/> 余地がある			
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	今後も農作物を鳥獣被害から防ぐため、更に効率的な防除を実施する。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		ながさき森林づくり担い手対策事業				作成日	28年 5月 19日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	（1）産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班			
	施策	<1>自然と共生し壱岐に根づく農業の振興				事業分類	1	公的関与	7	
	主要施策	③担い手の育成と農業経営支援				予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	壱岐市森林組合			目的（どういう状態にしたいのか）					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	林業担い手の技術機能の向上、労働安全衛生、福利厚生などの対策を講じ、地域林業の振興を図る。								
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	森林組合の基幹作業員に係る社会保険料のうち、事業主負担分の2/3を（県1/3・市1/3）で助成する。 尚、本事業は県が行う補助事業「ながさき森林づくり担い手対策事業」に基づいて助成する。								
事業期間	平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）				<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等	森林・林業基本法、ながさき森林づくり担い手対策事業助成金交付要綱									
事業費 / 年度	平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）					
直接事業費（千円）	2,736		2,758		4,642					
財源内訳	国・県支出金	1,367		1,378		2,321				
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源	1,369		1,380		2,321				
人件費（千円）	583		583		583					
内訳	職員（人・千円）	0.10 人	583	0.10 人	583	0.10 人	583			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）		単位	26年度 （実績）	27年度 目標 実績		28年度 （目標）	29年度 （目標）		
	①	森林組合基幹作業員の社会保険加入者数	人	9	11	9	11	11		
	②									
	③									
設定理由	森林組合基幹作業員の社会保険全員加入を成果指標としている。									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		反映している	一部反映していない	反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
妥当性	説明	森林を適正に維持管理する上で欠くことの出来ない森林組合の基幹作業員を確保するために、雇用環境の整備が必要である。しかし、経営基盤の脆弱な森林組合では、事業主が負担する社会保険料を賄いきれないため、公的な助成が必要である。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 森林組合の基幹作業員を確保するために、雇用環境の整備			
有効性	施策の実現のため必要な事業か		必要である	一部必要でない	必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
有効性	説明	森林組合基幹作業員の社会保険加入を成果指標としてしている。			
		<input checked="" type="checkbox"/> している。			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		実施された	一部未実施	実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
達成度	説明	社会保険料の一部助成を行うことにより、森林組合基幹作業員を確保し、地域林業の振興を図ることができた。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 確保し、地域林業の振興を図ることができた。			
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		得られた	一部得られていない	得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
効率性	説明	県が行う「ながさき森林づくり担い手対策事業」に基づき実施するため、コスト削減は見込めない。			
		<input checked="" type="checkbox"/> 基づき実施するため、コスト削減は見込めない。			
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 H27年度で事業終了		
	今後の改革・改善目標	森林を適正に維持管理する上で欠くことの出来ない森林組合の基幹作業員を確保するためには、雇用環境の整備が必要である。しかし、経営基盤の脆弱な森林組合では、事業主が負担する社会保険料を賄いきれないため、引き続き公的な助成が必要である。			

【 2 次 評 価 】

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 対象 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		保安林等保全管理事業				作成日	28年 5月 19日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(3) 自然を生かした、環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～				班名	農林畜産班			
	施策	<1>豊かな自然環境の保全と生活環境の創造				事業分類	1	公的関与		4
	主要施策	①自然環境の保全と活用				予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	防風・防潮保安林（芦辺町・石田町・郷ノ浦町）								
	目的（どういう状態にしたいのか）	防風保安林の成長を促す（風の強い地域の田畑や住宅を守る防風壁の役割を果たし、風による被害を防ぐ。）								
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	防風保安林（松樹）の成長を促すため、植栽後6～7年間下刈り（除草）及び枝打ち・除伐作業を森林組合に委託し行う。								
事業期間	平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）				<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等	森林法									
事業費 / 年度	平成 26 年度（決算）			平成 27 年度（決算）			平成 28 年度（予算）			
直接事業費（千円）	803			1,037			1,074			
財源内訳	国・県支出金									
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源	803			1,037			1,074		
人件費（千円）	291			291			291			
内訳	職員（人・千円）	0.05 人	291	0.05 人	291	0.05 人	291			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)		29年度 (目標)	
	①	下刈り当作業実施面積	a	350	350	350	350	350		
	②									
	③									
設定理由	保安林で下刈りが必要なところを選定し作業を実施した。（芦辺町棚江0.1ha、石田町筒城3.0ha、郷ノ浦町大島黒星地区0.9ha）									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	森林の役割に対する市民の関心は、地球温暖化や水源確保の上で高くなっている。また、風の強い地域には欠かすことの出来ない防風保安林（松の木）の成長を促す事業であり、公益性が高く市で実施することは妥当である。				
	説明				
達成度	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
達成度	豊かな自然環境の保全と生活環境の創造に直結した事業であり、強風時の被害防止に有効な事業内容である。植栽後、一定の大きさに成長するまで管理することは今後も必要である。				
	説明				
効率性	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
効率性	豊かな自然環境の保全と生活環境の創造を図る上で必要な事業である。計画通り、350 a の下刈り・枝打ち作業を実施出来た。防風林（松林）は一定の大きさに成長しない為、初期段階での下刈りや松くい虫防除等の管理を継続しなければならない。				
	説明				
個別評価	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
総合評価	樹齢30年以上にもなると木の高さも高くなり。田畑や住宅等を強風から守ることができ防風機能が発揮できる。				
	説明				
総合評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4		4		4
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	豊かな自然環境の保全と生活環境の創造に直結した事業であり、強風時の被害防止に有効な事業内容である。植栽後、一定の大きさに成長するまで管理することは今後も必要である。			

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		松くい虫防除事業			作成日	28年 5月 19日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(3) 自然を生かした、環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～		その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班	
	施策	<1>豊かな自然環境の保全と生活環境の創造				事業分類	1	公的関与
	主要施策	①自然環境の保全と活用			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	松林		目的（どういう状態にしたいのか）	松くい虫による松枯れの被害拡大を防止し、松林の健全な育成・保全を図る。			
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	松くい虫（マツノザイセンチュウ）を発病枯れ松から健全松に運んでいるカミキリ虫の駆除のため、ヘリコプターによる薬剤の空中散布及び動力噴霧器による薬剤の地上散布を行い、被害松の発生を防ぐ。						
事業期間	平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等	林業関係事業補助金等交付要綱、森林病虫害等防除法、長崎県松くい虫防除事業委託要綱、長崎県農林部関係補助金等交付要綱、長崎県森林病虫害等防除事業補助金実施要綱							
事業費 / 年度	平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）			
直接事業費（千円）	5,309		6,474		6,295			
財源内訳	国・県支出金	4,803		4,468		4,104		
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源	506		2,006		2,191		
人件費（千円）	2,040		2,040		2,040			
内訳	職員（人・千円）	0.35 人	2,040	0.35 人	2,040	0.35 人	2,040	
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0	
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	松くい虫防除の薬剤空中散布	ha	37.50	39.04	39.04	37.84	37.84
	②	松くい虫防除の薬剤地上散布	ha	34.90	32.08	32.08	29.97	29.97
	③							
設定理由	被害状況による防除区域の見直しにより、実施面積が増加した。							

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	反映している	一部反映していない	反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
説明	森林のもつ多角的機能の確保に資するため、「 <input checked="" type="checkbox"/> 松林病虫害防除法」「 <input type="checkbox"/> 埼玉県松くい虫防除事業委託要綱」他、多くの法及び要綱に基づき実施する事業である。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か	必要である	一部必要でない	必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
説明	豊かな自然環境の保全と生活環境の創造を図る上で必要な事業である。薬剤樹幹注入事業と併せ実施する春期の予防事業、松くい虫被害拡大を抑える冬季の伐倒駆除事業を適期に実施することで、松林の健全な育成・保全を図る。松くい虫防除について、現段階では有効な手段と考えられており、国・県の指導に基づき今後も継続が必要である。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	実施された	一部未実施	実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
説明	空中散布、地上散布は予定通り行われたが、一部地区での被害が予想以上の発生があり伐倒駆除数量が増加した状況に応じた駆除を行うことにより、松林の健全な育成・保全に努めた。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	得られた	一部得られていない	得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
説明	国・県の指導により実施しており、成果は十分に上がっている。事業コストが非常に高いので、全事業を市の負担で行うことは難しく、今後も、国、県の補助事業を活用し事業を継続していく。				
個別評価	妥当性	4			4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	有効性	4			
	達成度	4			
	効率性	4			
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合
	今後の改革・改善目標	その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
豊かな自然環境の保全と生活環境の創造を図る上で必要な事業である。薬剤樹幹注入事業と併せ実施する春期の予防事業、松くい虫被害拡大を抑える冬季の伐倒駆除事業を適期に実施することで、松林の健全な育成・保全を図る。松くい虫防除について、現段階では有効な手段と考えられており、国・県の指導に基づき今後も継続が必要である。					

【 2 次 評 価 】

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		薬剤樹幹注入事業			作成日	28年 5月 19日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(3) 自然を生かした、環境にやさしいまちづくり～自然・生活環境～			班名	農林畜産班		
	施策	<1> 豊かな自然環境の保全と生活環境の創造			事業分類	2	公的関与	1
	主要施策	① 自然環境の保全と活用			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	松林						
	目的（どういう状態にしたいのか）	松くい虫による松枯れの被害拡大を防止し、松林の健全な育成・保全を図る。						
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	健全な松樹の樹幹に薬剤を注入し、松くい虫による被害の防止を図り、松林の健全な育成・保全を行う。						
事業期間	平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等	林業関係事業補助金等交付要綱、森林病虫害等防除法、長崎県松くい虫防除事業委託要綱、長崎県農林部関係補助金等交付要綱、長崎県森林病虫害等防除事業補助金実施要綱							
事業費 / 年度	平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）			
直接事業費（千円）	3,218		1,674		2,376			
財源内訳	国・県支出金	1,330		526		954		
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源	1,888		1,148		1,422		
人件費（千円）	0		1,166		1,166			
内訳	職員（人・千円）	0.00 人	0	0.20 人	1,166	0.20 人	1,166	
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0	
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	松くい虫薬剤樹幹注入本数	本	838	1,000	416	600	1,000
	②							
	③							
設定理由	健全な松で、松くい虫薬剤樹幹が必要と思われる市内の松林を事前に調査・実施計画本数を算出し、樹幹注入作業を実施した。平成25年度より国の補助事業を活用し事業を実施している。							

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	森林のもつ多角的機能の確保に資するため、「森林病虫害防除法」「長崎県松くい虫防除事業委託要綱」他、多くの法及び要綱に基づき実施する事業である。			
	説明	豊かな自然環境の保全と生活環境の創造を図る上で必要な事業である。薬剤樹幹注入事業と併せ実施する春期の予防事業、松くい虫被害拡大を抑える冬季の伐倒駆除事業を適期に実施することで、松林の健全な育成・保全を図る。 松くい虫防除について、現段階では有効な手段と考えられており、国・県の指導に基づき今後も継続が必要である。			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	説明	平成26年度は地上散布区域と区別しながら森林病虫害等防除事業及び単独で実施した。ピンポイントに特に必要な松樹を防除し、自然景観の保全と生活環境の防備効果を守る。			
	説明	コストや業務量に見合った成果が得られたか <input checked="" type="checkbox"/> 得られた <input type="checkbox"/> 一部得られていない <input type="checkbox"/> 得られていない 手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか <input checked="" type="checkbox"/> 余地はない <input type="checkbox"/> 一部余地がある <input type="checkbox"/> 余地がある			
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	現在、人・環境への影響が不安視され、全国的に空中散布・地上散布の取り止め要望があっている。しかし、本市のような離島地区では、防風等の観点から松が重要な働きを持ち住民の生活を守っていることから、松くい虫の防除が必要不可欠である。そのため、今後はこういった要望を考慮し、徐々に薬剤散布から樹幹注入に移行していく必要があると思われる。			

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		苓崎市畜産環境適正化対策事業				作成日	28年 5月 25日				
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課				
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班			
	施策	<1> 自然と共生し苓岐に根づく農業の振興				<1>	事業分類	1	公的関与	9	
	主要施策	①生産の振興と苓岐ブランドづくり				①	予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費				
						項	農業費				
						目	畜産業費				
個別計画名											
行財政改革大綱上の位置づけ		推進施策									
		重点事項									
市民の参画・協働の手段											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）								
	肉用牛飼育農家		畜産農家の家畜糞回収にともなう不平等をなくし、市内の畜産を取り巻く環境の適正化を図る。								
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		市内での家畜糞の回収料金格差の調整が整うまでの間 糞の回収料金 芦辺町内 800円/t その他の地域 500円/t の差額300円/t を収集実績により助成する。 年間計画 1, 300t × 300円 = 390,000円								
事業期間		平成 24年度 ~ 平成 年度（ 年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等											
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）			平成 27年度（決算）			平成 28年度（予算）			
直接事業費（千円）		407			432			390			
財源内訳	国・県支出金										
	地方債										
	その他特定財源										
	一般財源		407			432			390		
人件費（千円）		58			58			58			
内訳	職員（人・千円）		0.01 人	58	0.01 人	58	0.01 人	58			
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)			
	①	料金の差額	円	300	300	300	300	300			
	②										
	③										
設定理由		家畜糞収集料金の差額を成果指標とした。									

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
説明	市内で家畜糞収集料金に格差がある状態は適切ではなく、不平等をなくすことは必要である。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
説明	肉用牛の販売額が農業産出額の半分を占めている現状から、畜産農家の振興を図ることが重要となっている。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
説明	計画を上回る実績で、指標達成できた。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
説明	事業申請にかかる事務をぎ岐市農業協同組合が携わることから、市にかかる負担が軽減されている。				
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価	A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	市内で家畜糞収集料金に格差がある状態は適切ではなく、不平等がなくなるまで必要である。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事務事業評価シート

整理番号 51410

事業名		農業経営対策地方公共団体事業（人・農地プラン作成事業）			作成日	28年 5月 19日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	（1）産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興			事業分類	公的関与		
	主要施策	③担い手の育成と農業経営支援			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	目的（どういう状態にしたいのか）						
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	集落・地域が抱える「人・農地の問題解決」のため、集落・地域における話し合いにより、①今後の地域の中心となる経営体はどこか、②地域の中心となる経営体へどうやって農地を集めるか、③地域の中心となる経営体となる経営体とそれ以外の農業者を含めた地域農業のあり方等を定めた人・農地プランを各集落において作成する。						
事業期間	平成 年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等								
事業費 / 年度		平成 26 年度（決算）		平成 27 年度（決算）		平成 28 年度（予算）		
財源内訳	直接事業費（千円）	251		246		311		
	国・県支出金	250		113		155		
	地方債							
	その他特定財源							
一般財源		1		133		156		
人件費（千円）		2,904		2,904		2,904		
内訳	職員（人・千円）	0.50 人	2,904	0.50 人	2,904	0.50 人	2,904	
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0	
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）		単位	26年度 （実績）	27年度 目標 実績		28年度 （目標）	29年度 （目標）
	①	人・農地プラン作成集落数(改定)	集落	12	12	12	12	12
	②	人・農地プラン作成集落数(概要版)	集落	1	5	9	2	
	③							
設定理由	人・農地プランについては、全集落において作成するように指示されており、当面関連事業の対象者が存在する集落を優先に作成し、それ以降は拡大・変更を行い最終的には旧農協支所単位の12作成氏、それぞれ改定及び農地中間管理機構の関係で、小集落単位の概要版を作成する							

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	説明 全国の農業集落で問題となっている「人と農地の問題」を解決するために人・農地プランを作成することは妥当であると思われる。				
	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
達成度	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
	説明 全国の農業集落で問題となっている「人と農地の問題」を解決するために人・農地プランを作成し、市内各農業集落で作成することは、農業生産、農地流動化をすすめるためにも有効であると思われる。				
効率性	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
個別評価	説明 吉岐地域全域を網羅する旧農協支所単位の12のプランを策定しているので、毎年見直しを行うとともに、農地中間管理機構の関係で、実態にあった概要版の作成を行う				
	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
総合評価	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	説明 実際の人・農地プラン作成については、吉岐地域担い手育成総合支援協議会が行うようになり、関係機関との連携が図られるため、効率的である。				
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	人・農地プランは農村地域の人と農地の問題を解決するための方針を話し合いによって決定することとなっており、今後地域内での話し合いを活発に進める必要がある。			

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		青年就農給付金事業			作成日	28年 5月 19日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興			事業分類	1	公的関与	6
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	45歳未満の独立・自営就農を行う者		目的（どういう状態にしたいのか）	新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保する給付金を給付する。			
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		新規就農者の就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、経営が不安定な就農直後（5年以内）の所得を確保する給付金を給付する。					
	給付金額：年間最大150万円/人（最大5年間） 要件		①独立・自営就農時の年齢が、原則45歳未満であること ②独立・自営就農であること ③青年等就農計画の認定を受けた者であること ④人・農地プランへの位置付け ⑤生活保護など、生活費を支給する国の他の事業と重複受給でないこと					
事業期間		平成 24年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等		新規就農・経営継承総合支援事業実施要綱						
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）		
財源内訳	直接事業費（千円）	18,750		16,500		24,000		
	国・県支出金	18,750		16,500		24,000		
	地方債							
	その他特定財源							
一般財源								
人件費（千円）		2,904		2,904		2,904		
内訳	職員（人・千円）	0.50 人	2,904	0.50 人	2,904	0.50 人	2,904	
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0	
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	青年就農給付金を受ける新規就農者数	人	13	10	12	16	10
	②							
	③							
設定理由		地域農業の活性化のためにも新規就農者を確保することが重要であるため設定する。						

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
妥当性	説明 全国の農業集落で問題となっている農業者の高齢化、後継者不足を解決するため、青年就農給付金を給付することは妥当である。				
	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
有効性	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
	説明 全国の農業集落で問題となっている農業者の高齢化、後継者不足を解決するため、本事業に取り組むことは本市の農業生産振興を進めるためにも有効である。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
達成度	説明 地域の話し合いにより市内全地区で作成された、人・農地プランに今後の地域の中心となる経営体として位置づけられた新規就農者への支援を実施した。				
	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
効率性	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	説明 本事業の推進については、吉岐地域担い手育成総合支援協議会が行うようになり、関係機関との連携が図られるため、効率的である。				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	地域の話し合いにより人・農地プランに今後の地域の中心となる経営体として位置づけられた新規就農者を、関係機関が一体となって支援を実施する。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		離島輸送コスト支援事業			作成日	28年 5月 19日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興			事業分類	1	公的関与	9
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本ー！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段		施策・事業企画段階からの市民関与						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	農業者		離島活性化交付金を活用し、輸送費の支援による出荷コストの低減分で、生産者の生産意欲向上を図り、より安全で高品質な生産拡大へと繋げる。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		離島活性化交付金を活用し、輸送費の支援による出荷コストの低減分で、生産者の生産意欲向上を図り、より安全で高品質な生産拡大へと繋げる。					
事業期間		平成 24年度 ～ 平成 26年度（ 3年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等		離島活性化交付金事業実施要綱 離島活性化交付金事業実施要領 離島活性化交付金交付要綱						
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）		
直接事業費（千円）		28,259		0		30,000		
財源内訳	国・県支出金		13,040				14,000	
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源						16,000	
人件費（千円）		290		290		290		
内訳	職員（人・千円）		0.05 人	290	0.05 人	290	0.05 人	290
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	米・麦・大豆類	t	3,704	3,338	2873	3,371	3,300
	②	野菜類等	t	820	992	1,014	1,011	1,098
	③	肥育牛	頭	1,180	1,200	1,128	1,200	1,200
設定理由								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	説明 ・ 急激な資源価格の高騰及び景気の変動などの影響を大きく受ける農業者の農産物出荷に係る海上輸送費の負担軽減は、市の基幹産業である農業の振興に大きく寄与する。 ・ 本事業を進めるには、離島活性化交付金を活用することは妥当である。				
	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
達成度	説明 ・ 基幹産業である農業の競争力低下の要因となっている輸送コストが低減することにより、所得の向上だけでなく徹底した品質管理に力を入れることができ、安全性と高品質保持が図られることで需要が増大し、生産量の増大に繋がる。				
	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
	説明 本事業により、生産者に対して本土へ出荷する際の輸送経費に対して助成。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	説明 生産者への輸送費支援のためコスト削減はできないが、効率的な事業実施体制となっている。				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		地産地消推進対策事業			作成日	28年 5月 20日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し舌岐に根づく農業の振興			事業分類	公的関与		
	主要施策	①生産の振興と舌岐ブランドづくり			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ		推進施策						
		重点事項						
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	大麦栽培農家		焼酎原料となる大麦の安定生産・供給を図るとともに、地産地消を推進する。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）							
焼酎原料となる大麦の安定生産・供給を図るとともに、地産地消を推進するために生産に対する奨励助成金として3年間実施する。 ○補助の対象 焼酎原料用の大麦作付け面積を対象とする。 ○補助率 5,000円/10a（定額） ○補助金額 平成25年度 13,000a×5,000円/10a=6,500,000円 平成26年度 14,000a×5,000円/10a=7,000,000円 平成27年度 15,145.6a×5,000円/10a=7,572,800円								
事業期間		平成 25年度 ～ 平成 27年度（3年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等								
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）		
直接事業費（千円）		7,290		7,572		0		
財源内訳	国・県支出金							
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源		7,290		7,572			
人件費（千円）		2,904		2,904		0		
内訳	職員（人・千円）		0.50 人	2,904	0.50 人	2,904	人	0
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）		単位	26年度 （実績）	27年度 目標	27年度 実績	28年度 （目標）	29年度 （目標）
	①	焼酎原料用大麦作付け面積	a	13,152	14,000	14,580	15,500	15,500
	②							
	③							
設定理由		今後も焼酎原料の安定生産・供給を図るとともに、地産地消を推進するため、生産面積を設定した。						

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
妥当性	説明	本市の特産品である麦焼酎の原料である麦の作付けに対する助成を行うことで、農業生産額の維持に繋がることであり、産地維持対策を推進することは妥当と思われる。			
有効性	施策の実現のため必要な事業か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
有効性	説明	本市の特産品である麦焼酎の原料である麦の作付けに対する助成を行うことで、農業生産額の維持に繋がることであり、産地維持対策を推進することは妥当と思われる。			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
達成度	説明	本市の特産品である麦焼酎の原料である麦の作付けに対する助成を行うことで、農業生産額の維持に繋がることであり、産地維持対策を推進することは妥当と思われる。			
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
効率性	説明	本市の特産品である麦焼酎の原料である21世紀型圃場整備地区(全面積70%)を中心に麦の作付けを行うことで、コストの縮減等が図られ、農業生産額の維持に繋がることであり、産地維持対策を推進することは妥当であり、焼酎原料の確保が今後も重要と思われる。			
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		葉たばこ産地維持対策事業			作成日	28年 5月 20日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班			
	施策	<1> 自然と共生し壱岐に根づく農業の振興			事業分類	公的関与			
	主要施策	①生産の振興と壱岐ブランドづくり			予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費		
個別計画名									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策								
	重点事項								
市民の参画・協働の手段									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	生産農家が負担する西九州たばこ耕作組合壱岐支所の統合に伴う臨時職員雇用、事務所経費							
	目的（どういう状態にしたいのか）	平成25年度については、事務所機能を維持することにより、葉たばこ産地の維持・発展を図ることを目的とする。							
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		平成25年度については、唐津支所壱岐連絡所の機能充実を図るとともに、平成26年度以降については、事務所機能を維持することにより、葉たばこ産地の維持・発展を図ることを目的とする。 【平成25年度】 支所統合に伴い唐津支所壱岐連絡所になることに伴う臨時職員雇用に係る生産農家負担を対象とする。 【平成25～27年度】 支所、連絡所閉鎖になることに伴う臨時職員雇用、事務所経費に係る生産者負担を対象とする。							
事業期間	平成 25年度 ～ 平成 27年度（ 3年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等									
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）			
直接事業費（千円）		1,979		1,861					
財源内訳	国・県支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	1,979		1,861					
人件費（千円）		0		2,904		0			
内訳	職員（人・千円）	人	0	0.50人	2,904	人	0		
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	葉たばこ耕作人員	人	32	32	32	31	31	
	②	葉たばこ耕作面積	a	7,443	7,443	7,263	6,993	7,000	
	③								
設定理由	今後も焼酎原料の安定生産・供給を図るとともに、地産地消を推進するため、生産面積を設定した。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	説明 本市の基幹作目の1つである葉たばこの産地維持を行うことは、農業生産額の維持に繋がることであり、産地維持対策を推進することは妥当と思われる。				
	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
達成度	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
	説明 西九州たばこ耕作組合の支所統合により、現在の吉岐支所の機能が失われることに対して、事務所機能充実、事務所機能維持を図ることは産地の維持に繋がり有効と思われる。				
効率性	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
個別評価	説明 西九州たばこ耕作組合の支所統合により、唐津支所吉岐連絡所の機能充実を図るため、臨時職員雇用に係る生産農家負担を助成することにより、葉たばこ産地の維持・発展を図ることができた。				
	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
総合評価	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	説明 西九州たばこ耕作組合の支所統合により、現在の吉岐支所の機能が失われることに対して、事務所機能充実、事務所機能維持を図ることは産地の維持に繋がり効率的と思われる。				
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	人・農地プランは農村地域の人と農地の問題を解決するための方針を話し合いによって決定することとなっており、今後地域内での話し合いを活発に進める必要がある。			

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		長崎県放牧定着化総合対策事業				作成日	28年 5月 25日				
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課				
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班			
	施策	<1> 自然と共生し舌岐に根づく農業の振興				<1>	事業分類	1	公的関与	9	
	主要施策	①生産の振興と舌岐ブランドづくり				①	予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費				
個別計画名											
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策										
	重点事項										
市民の参画・協働の手段											
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	肉用牛飼養農家			目的（どういう状態にしたいのか）	畜産農家のコスト低減及び耕作放棄地の解消					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）										
	事業は、耕作放棄地周辺の耕地を利用し、耕作放棄地と一体的に放牧利用する畜産農家が放牧場を整備する場合、経費の一部を助成する。（県単事業） 補助率2分の1以内。ただし、1事業当たり275,000円を上限。										
事業期間		平成 25年度 ～ 平成 27年度（ 3年間）				<input type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等		長崎県放牧定着化総合対策事業実施要領									
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）					
財源内訳	直接事業費（千円）	0		0		0					
	国・県支出金	0		0							
	地方債										
	その他特定財源										
内訳	人件費（千円）	0		0		0					
	職員（人・千円）	0.00 人	0	人	0	人	0				
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0				
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)			単位	26年度 (実績)	27年度 目標 実績		28年度 (目標)	29年度 (目標)		
	①	放牧場の整備面積		a	0	0	0				
	②										
	③										
設定理由	放牧場の整備面積を成果指標とした。										

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	施策の実現のため必要な事業か		<input type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	総合評価		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		加工業務用産地育成整備推進事業				作成日	28年 5月 20日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	（1）産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班			
	施策	<1> 自然と共生し舌岐に根づく農業の振興				事業分類	1	公的関与	9	
	主要施策	①生産の振興と舌岐ブランドづくり				予算費目	会計	一般会計		
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費		
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策									
	重点事項									
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	集落営農組織及び農家								
	目的（どういう状態にしたいのか）	加工・業務用野菜の新規取組みを行うことにより、加工・業務用産地の育成を図る。								
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		需要が増加している加工・業務用野菜の生産拡大による農家所得の向上を目指し、産地の計画的な振興を推進するための体制を整備し、実需者ニーズの把握、情報共有化等を進め、産地と実需者の連携を強化するとともに、水田裏等を活用した加工・業務用産地の育成に向けた取組みを推進する。 ○加工・業務用産地支援事業（集落営農組織取組支援）【取組初年度のみ】 3. 09a × 30, 000円 / 10a = 927, 000円								
事業期間	平成 25年度 ～ 平成 27年度（3年間）				<input type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等	加工業務用産地育成整備推進事業実施要綱 加工業務用産地育成整備推進事業費補助金交付要綱									
事業費 / 年度	平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）					
直接事業費（千円）	270		927		0					
財源内訳	国・県支出金	270		927						
	地方債									
	一般財源	0		0		0				
人件費（千円）	291		291		291					
内訳	職員（人・千円）	0.05人	291	0.05人	291	0.05人	291			
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 （事業計画の進捗状況・達成度を示す。）		単位	26年度 （実績）	27年度 目標 実績		28年度 （目標）	29年度 （目標）		
	①	加工・業務用野菜（玉ねぎ）作付面積	a	90	500	309	500	500		
	②									
	③									
設定理由										

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
妥当性	説明 加工・業務用野菜取組を支援することにより、集落営農組織の経営安定を図ることは、本市農業振興に資することになり妥当と思われる。				
	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
有効性	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
	有効性	説明 加工・業務用野菜取組を支援することにより、集落営農組織及び農業者の経営安定を図ることは、現在土地利用型作物主体の経営体質を改善させるためには有効と思われる。			
事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
達成度	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
	達成度	説明 加工・業務用野菜取組を支援することにより、集落営農組織及び農業者の経営安定を図ることができた。			
効率性		。		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	効率性	説明 本事業により加工・業務用野菜の振興を支援することにより、集落営農及び農業者の経営改善・育成につながり、産地形成を図ることができる。			
個別評価		妥当性	有効性	達成度	効率性
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		農地中間管理事業			作成日	28年 5月 19日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し吉岐に根づく農業の振興			事業分類	1	公的関与	1
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ		推進施策						
		重点事項						
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	農業者						
	目的（どういう状態にしたいのか）	農地の多面的機能の維持及び担い手農家への農地の集積						
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		吉岐管内の農用地を対象とし、耕作放棄地の改善及び特定農業法人・認定農業者等の担い手への農地の集積をおこなう。						
事業期間	平成 26年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等	・農地中間管理事業の推進に関する法律 ・農地管理事業の推進に関する法律の施行令 農地中間管理事業に関する法律施行規則							
事業費 / 年度	平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）			
直接事業費（千円）	5,229		6,860		6,900			
財源内訳	国・県支出金	5,100		6,793		6,800		
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源	129		67		100		
人件費（千円）	7,026		7,026		7,026			
内訳	職員（人・千円）	0.50 人	2,904	0.50 人	2,904	0.50 人	2,904	
	嘱託（人・千円）	1.50 人	4,122	1.50 人	4,122	1.50 人	4,122	
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	農用地集積面積	ha	24	123	201	30	30
	②	認定農業者の育成	戸数					
	③							
設定理由	①農用地集積面積については、県農地中間管理機構よりの配分面積 ②認定農業者を辞める人、新規認定農業者との差表示							

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	耕作放棄地の改善及び多面的機能の維持のために必要な事業である。				
	説明				
達成度	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
達成度	土地の有効活用及び担い手等の育成をする上で、調整機関は必要である。				
	説明				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input type="checkbox"/> 実施された	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
達成度	壱岐市の集落営農組織は、平成17年度以降38の特定農業団体が結成され、設立時に作成した法人化計画に基づいて法人化が検討されてきたが、平成27年度までに法人設立に至った団体が18団体に増加している。そのため、当初計画より大幅に農地集積をおこなうことが出来た。				
	説明				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input type="checkbox"/> 得られた	<input checked="" type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
効率性					
	説明				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標				

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等						

事業名		農村地域防災減災事業(沓岐地区)調査計画事業			作成日	28年 5月 18日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農村整備班			
	施策	<1> 自然と共生し沓岐に根づく農業の振興			事業分類	2	公的関与	5	
	主要施策	④ 農業生産基盤の整備				予算費目	会計	01 一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	05 農林水産業費	
個別計画名									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策	(1) サービスの向上のための事務事業等の見直し							
	重点事項	③ 公共施設の適切な設置・運営							
市民の参画・協働の手段		危険ため池について防災マップを作成し地元と情報を共有。							
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	受益地 2ha以下の農業用ため池 N=48箇所 沓岐島内のため池を一斉点検し、漏水量・陥没・ひび割れなどの老朽度の調査を行い、全体的な状況の把握に努め、防災・減災対策につなげて行く。							
	目的・内容	東日本大震災以降、国は農業ため池の一斉点検を指導しており、H25にまず県が事業主体となり、受益面積2ha以上のため池137箇所の点検調査が行われた。それに続き、H26に受益地2ha以下のため池について、沓岐市が事業主体となり、業務委託(土地改良連合会)にて19ヶ所の調査が行われ、残箇所についてH27に調査を実施した。 H27ため池一斉点検箇所 N=29箇所 (国庫補助：100%)							
25		平成 26年度 ~ 平成 27年度 (2年間)			<input type="checkbox"/> 期間設定なし				
根拠法令・要綱等		土地改良法							
事業費 / 年度		平成 27年度 (決算)		平成 28年度 (決算)		平成 29年度 (予算)			
直接事業費 (千円)		2,322		0		0			
財源内訳	国・県支出金	2,322							
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源								
人件費 (千円)		3,004		0		0			
内訳	職員 (人・千円)	0.50 人	3,004	人	0	人	0		
	嘱託 (人・千円)	人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	ため池調査完了箇所数	ヶ所	19	29	29	0	0	
	②								
	③								
設定理由	ため池の「一斉点検」ということで、調査完了した箇所数を指標とした。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	農業用ため池は、主食である水稻等の栽培には欠かすことのできない農業経営基盤の1つであり、また豪雨時には地区の溜水の役割を果たし、貯水効果も高く、防災・減災面からも必要不可欠であり、ため池の老朽度調査実施は妥当なものである。			
	説明	近年、農業経営基盤の改修や維持管理が農家数の減少や高齢化等の要因から適正に実施されず、機能の低下を招き、結果として耕作放棄地の発生等をもたらし、結果として効率的な土地利用や農業経営に支障を来している。本事業を実施することにより、①防災・減災面の効果②耕作放棄地の発生防止効果③施設の老朽度の把握・計画的な改修に寄与するといった効果があることから、施策として有効である。			
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
効率性	説明	国の全額補助もあり、所定のため池の調査がすべて実施され、農業施設の現況データが蓄積された。事業の目的は達成されている。			
	説明	本事業の実施することにより、市民の安全度が向上すること、また安定的な農業用水確保により農業経営の安定化が図れるため、効率性は十分である。			
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価		A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討	
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	ため池の一斉点検はH27をもって完了。現在、同時進行で受益面積2ha以上で漏水の大きいため池については、県営事業にて改修事業に着手の段となっている。課題としては、小規模のため池の改修の方策と制度の要望について今後検討する必要あり。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		ながさき米・麦・大豆産地強化推進事業			作成日	28年 5月 24日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し舌岐に根づく農業の振興			事業分類	1	公的関与	7
	主要施策	③ 担い手の育成と農業経営支援			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンピニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ		推進施策						
		重点事項						
市民の参画・協働の手段		施策・事業の企画段階からの市民関与						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	長崎県が定める基準に該当する組織		本県の米・麦・大豆産地の生産性向上と競争力の強化を図るため、「米・麦・大豆産地強化計画」に基づいた、県産米ブランド力強化、麦・大豆等の生産拡大、生産組織の経営安定化、米需給調整システムの円滑な推進など国の制度に対応した生産体制の構築を図る。 また、食糧法及び米トレーサビリティ法の周知を図り、法を遵守した米の適正流通を図る。					
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		○県産米ブランド力強化事業 水稻の高温耐性品種（にこまる、つや姫、おてんとそだち）等の生産拡大、品質・食味向上に係る機器の導入、特別栽培の推進、販売促進活動への支援 ○小規模生産組織経営発展支援事業 経営改善を目指す小規模の生産組織が行う新規品目の導入、排水対策の実施、営農計画策定への支援 ○米需給調整システム化推進事業 市町の地域別の生産数量目標の提供・生産調整方針参加促進に要する経費助成 地域協議会の生産数量目標の提供・水稻作付確認に要する経費助成						
事業期間		平成 25年度 ～ 平成 27年度（3年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし			
根拠法令・要綱等		ながさき米・麦・大豆産地強化推進事業補助金交付要領 ながさき米・麦・大豆産地強化推進事業実施要領						
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）		
直接事業費（千円）		6,695		4,199				
財源内訳	国・県支出金	3,658		2,388				
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源	3,037		1,811				
人件費（千円）		2,323						
内訳	職員（人・千円）	0.40人	2,323	0.30人	1,742			
	嘱託（人・千円）	人	0		0			
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	米の生産数量（以下）	t	5,542	5,890	5,246	5,815	
	②	稲作作付面積（以下）	ha	1,138	1,187	1,075	1,170	
	③	集落営農組織	数	38	38	41	43	
設定理由	「米・麦・大豆産地強化計画」に基づき、需要に応じた米の生産の推進を図ることにより、生産調整・産地づくりの推進ができた。							

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業者にとって、長崎の米づくり改革事業への関心は高い。 ・ 本事業を進めるには、県補助事業を活用することは妥当である。 ・ この事業については、県についても拡大傾向にある。 				
有効性	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input type="checkbox"/> 重複はない	<input checked="" type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総合計画に定める施策「自然と共生し杵岐に根づく農業の振興」を図る上で、生産調整・産地づくりの推進を本事業で実施することは施策実現のため必要である。 ・ 目的達成に関しては、住民の同意を得ることができる内容となっている。 ・ 農家がこの事業への関心が高いため、事業の継続は妥当である。 				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった
説明	<p>本県の米・麦・大豆産地の生産性向上と競争力の強化を図るため、「米・麦・大豆産地強化計画」に基づいた、県産米ブランド力強化、麦・大豆等の生産拡大、生産組織の経営安定化、米需給調整システムの円滑な推進など国の制度に対応した生産体制の構築に要する経費について助成した。</p> <p>また、需要に応じた米の生産と施設園芸等定着性転作作物の推進を図ることにより、生産調整・産地づくりの推進ができた。</p>				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
説明	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業量に見合った生産調整・産地づくりの推進ができた。 ・ 県補助事業のため、事業主体と県との中間役でコスト削減はできないが、効率的な事業実施体制となっている。 ・ 全事業費を実施主体で負担することは難しいと思われる。 				
個別評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	3	4	3	
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input checked="" type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	「ながさき米・麦・大豆産地強化推進事業」は27年度で事業終了するが、28年度より「儲かるながさき水田経営育成支援事業」として同種事業として継続される見込みであるため、この新規事業を推進することにより、農業の経営安定に繋げていく必要がある。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		畜産競争力強化整備事業				作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他				課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～			その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し舌岐に根づく農業の振興				<1>	事業分類	12	公的関与	9
	主要施策	④ 農業生産基盤の整備				④	予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想					款	農林水産業費		
						項	農業費			
						目	畜産業費			
個別計画名										
行財政改革大綱上の位置づけ		推進施策								
		重点事項								
市民の参画・協働の手段										
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）							
	農業協同組合、中心的な経営体、新規就農者		地域の中心的な畜産経営体等に対する家畜飼養管理施設等の整備を支援します。							
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		1 畜産競争力強化に要する施設 (1) 家畜飼養管理施設 (2) 家畜排せつ物処理施設 (3) 自給飼料管理施設 (4) 畜産物処理加工施設 (5) (1)～(4)の施設の補改修 2 肉用繁殖牛（新規就農者に貸し付ける場合に限る）・・・ 国：事業費の1/2以内、かつ上限額は妊娠牛275千円、繁殖雌牛175千円 国：事業費の50% 県：事業費の13.5% 市：事業費の5%（ただし、新規就農者の場合は10%）							
事業期間		平成 26年度 ～ 平成 年度（ 年間）			<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等										
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）				
直接事業費（千円）		0		17,087		108,867				
財源内訳	国・県支出金				15,134		94,642			
	地方債									
	その他特定財源									
	一般財源				1,953		14,225			
人件費（千円）		0		583		583				
内訳	職員（人・千円）		人	0	0.10人	583	0.10人	583		
	嘱託（人・千円）		人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)			単位	26年度 (実績)	27年度 (目標)		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	① 畜産競争力強化整備事業			件		1	0	3	1	
	②									
	③									
設定理由		事業への取組み件数を成果指標とした。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか		<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない
	行政が実施することが適当か		<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない
	国や県、民間等のサービスと重複していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか		<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している
有効性	説明 吉岐の肉用牛は農業産出額全体の過半を占める吉岐農業の基幹であり、肉用牛生産の基盤整備は重要な対策である。				
	施策の実現のため必要な事業か		<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない
達成度	目的を達成するための事業内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか		<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している
	事業継続により成果の向上が図られるか		<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない
	説明 総合計画に定める主要施策「担い手の育成と農業経営支援」を図る上で、中心的な経営体の育成・確保を推進することは施策実現のため必要である。				
効率性	事業は当初の計画どおり実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input checked="" type="checkbox"/> 実施されなかった
	成果指標は達成したか		<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった
個別評価	説明 事業は計画通り実施され、成果指標を達成した。				
	コストや業務量に見合った成果が得られたか		<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない
総合評価	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか		<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある
	説明 補助事業のため、事業主体と国との中間役で事務負担はあるが、効率的な事業実施体制となっている。				
総合評価		A	A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	吉岐農業にとって肉用牛は大きな柱であり、経済的にも地域内資源の循環・有効活用にも大きな役割を担っており、今後とも維持・発展を支える対策は重要である。			

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止					
	意見等						

事業名		野生鳥獣林業被害対策事業			作成日	28年 5月 23日		
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課		
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班	
	施策	<1>豊かな自然環境の保全と生活環境の創造				事業分類	1	公的関与
	主要施策	④農業生産基盤の整備			予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想				款	農林水産業費	
個別計画名								
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策							
	重点事項							
市民の参画・協働の手段								
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	市内のタイワンリス		目的（どういう状態にしたいのか） 繁殖し続ける個体数を市民協力の駆除によって減らし、農林業被害・生活環境被害の防止を目的とする。				
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）	タイワンリスを駆除した者には、報償金として1匹あたり700円を支払う。 宍道地域鳥獣被害防止対策協議会へ、箱わなの購入、貸し付け、捕獲リスのとりまとめ及び処分、報償金の支払い手続きなど、タイワンリスに関する業務を委託する。 また、猟友会に適切なわな使用のために巡回指導を委託する。 市民の協力の基、特定外来生物であるタイワンリスの個体数の減少、市民生活におけるタイワンリスの被害を事前に防止することを目的とする。						
事業期間	平成 27年度 ~ 平成 年度（ 年間）		<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等								
事業費 / 年度		平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）		
直接事業費（千円）		9,321		9,709		8,500		
財源内訳	国・県支出金	3,500		1,220		1,500		
	地方債							
	その他特定財源							
	一般財源	5,821		8,489		7,000		
人件費（千円）		58		58		58		
内訳	職員（人・千円）	0.01 人	58	0.01 人	58	0.01 人	58	
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0	
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 (目標 実績)		28年度 (目標)	29年度 (目標)
	①	駆除数	匹	9,833	8,740	10,050	10,000	10,000
	②							
	③							
設定理由	市内におけるリスの駆除数の増加が顕著に表れるため。							

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
説明	市内にはリスの捕獲を専門とした業者がなく、市民の協力の基、実施せざるを得ない状況にあった。				
有効性	施策の実現のため必要な事業か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
説明	市内でタイワンリスによって起こる、農林業被害、生活環境被害を防止することができた。				
達成度	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
説明	市民の自発的な駆除もあり、多くのリスの駆除に成功した。				
効率性	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
説明	駆除数に関しては、多くの個体の駆除をでき、大変良い結果となっているが、特定外来生物として駆除を行っている以上、国や県の補助金を貰いにくいという点は検討すべきである。				
個別評価	妥当性	4	有効性	4	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	達成度	4	効率性	4	
総合評価	A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	岐阜島内におけるタイワンリスによる農林業被害、生活環境被害を抑える為に重要な事業である。今後は、駆除従事者のあり方について考え、効率向上を図るべきである。			

【2次評価】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止
	意見等	

事業名		地域肉用牛緊急増頭対策事業			作成日	28年 5月 25日			
実施方法		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> その他			課名	農林課			
総合計画上の位置付け	基本指針	(1) 産業振興で活力あふれるまちづくり～産業振興～		その他の該当する位置付け	(1)	班名	農林畜産班		
	施策	<1> 自然と共生し舌岐に根づく農業の振興			<1>	事業分類	1	公的関与	9
	主要施策	①生産の振興と舌岐ブランドづくり			①	予算費目	会計	一般会計	
	牽引プロジェクト	<input type="checkbox"/> いきいきわくわく観光コンビニエンス構想 <input checked="" type="checkbox"/> めざせ日本一！いきいき食の原産国構想 <input type="checkbox"/> 古代浪漫の宝庫！歴史と文化の島づくり構想 <input type="checkbox"/> 蛸が乱舞！悠々快適いきいきアイランド構想			目	款	農林水産業費		
個別計画名									
行財政改革大綱上の位置づけ	推進施策								
	重点事項								
市民の参画・協働の手段									
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）	肉用牛飼育農家		目的（どういう状態にしたいのか） 本市農業の基幹作目である繁殖牛の飼養頭数が、5,800頭を下回るまでに減少しており、産地間競争に耐えうる子牛生産地を維持するために、緊急に増頭対策を行い繁殖牛の減少に歯止めをかける。					
	事業内容（どのような方法で、何を行うのか）								
	目的・内容	対象：家畜市場からの購入及び自家保留によって飼養規模の増頭に取り組む肉用繁殖雌牛導入者 目的：産地間競争に耐えうる子牛生産地を維持するために、緊急に増頭対策を行い繁殖牛の減少に歯止めをかける 内容：増頭する者に対し1頭当たり8万円の補助金を交付する。ただし、新規就農者が10頭以上の飼養をする場合の妊娠牛導入は1頭当たり15万円の補助金を交付する。							
事業期間	平成 26年度 ~ 平成 28年度（3年間）			<input type="checkbox"/> 期間設定なし					
根拠法令・要綱等									
事業費 / 年度	平成 26年度（決算）		平成 27年度（決算）		平成 28年度（予算）				
直接事業費（千円）	14,000		10,800		9,600				
財源内訳	国・県支出金								
	地方債								
	その他特定財源								
	一般財源	14,000		10,800		9,600			
人件費（千円）	117		117		117				
内訳	職員（人・千円）	0.02 人	117	0.02 人	117	0.02 人	117		
	嘱託（人・千円）	人	0	人	0	人	0		
活動・成果指標	活動・成果指標名 (事業計画の進捗状況・達成度を示す。)		単位	26年度 (実績)	27年度 目標 実績		28年度 (目標)	29年度 (目標)	
	①	導入実績頭数	頭	175	120	135	120	120	
	②								
	③								
設定理由	繁殖素牛導入の実績数値とした。								

【 1 次 評 価 】					
妥当性	市民のニーズを反映しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 反映している	<input type="checkbox"/> 一部反映していない	<input type="checkbox"/> 反映していない	
	行政が実施することが適当か	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である	<input type="checkbox"/> 一部適当でない	<input type="checkbox"/> 適当でない	
	国や県、民間等のサービスと重複していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複していない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	社会情勢の変化で実施意義が低下していないか	<input checked="" type="checkbox"/> 低下していない	<input type="checkbox"/> 一部低下している	<input type="checkbox"/> 低下している	
有効性	説明	吉岐農業の基幹作目である肉用牛産地と吉岐家畜市場の市場性の維持に必要である。			
	施策の実現のため必要な事業か	<input checked="" type="checkbox"/> 必要である	<input type="checkbox"/> 一部必要でない	<input type="checkbox"/> 必要でない	
達成度	目的を達成するための事業内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> なっている	<input type="checkbox"/> 一部なっていない	<input type="checkbox"/> なっていない	
	施策の中で類似・重複した事務事業がないか	<input checked="" type="checkbox"/> 重複はない	<input type="checkbox"/> 一部重複している	<input type="checkbox"/> 重複している	
	事業継続により成果の向上が図られるか	<input checked="" type="checkbox"/> 図られる	<input type="checkbox"/> 一部図られない	<input type="checkbox"/> 図られない	
	説明	子牛・成牛価格が高値傾向のため補助を行うことは、繁殖経営農家の生産意欲向上と規模拡大、更に後継者の積極的な取り組みに有効である。			
効率性	事業は当初の計画どおり実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/> 実施された	<input type="checkbox"/> 一部未実施	<input type="checkbox"/> 実施されなかった	
	成果指標は達成したか	<input checked="" type="checkbox"/> 全ての指標達成	<input type="checkbox"/> 一部未達成	<input type="checkbox"/> 達成しなかった	
個別評価	説明	計画を上回る実績で、指標達成できた。			
	コストや業務量に見合った成果が得られたか	<input checked="" type="checkbox"/> 得られた	<input type="checkbox"/> 一部得られていない	<input type="checkbox"/> 得られていない	
総合評価	手段等の見直しによりコスト削減の余地はないか	<input checked="" type="checkbox"/> 余地はない	<input type="checkbox"/> 一部余地がある	<input type="checkbox"/> 余地がある	
	説明	吉岐市農協が事業にかかる事務作業を実施するため効率化でき、市にかかる負担が軽減されている。			
総合評価	妥当性	有効性	達成度	効率性	4 = 適切・十分 3 = 概ね適切 2 = やや不適切・やや不十分 1 = 不適切・不十分
	4	4	4	4	
総合評価	A		A = 拡大・現状維持 B = 事業の進め方の改善検討 C = 事業規模や実施主体の見直し検討 D = 抜本的見直し、休廃止の検討		
今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> その他の見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止 <input type="checkbox"/> H27年度で事業終了			
	今後の改革・改善目標	吉岐農業にとって肉用牛は大きな柱であり、経済的にも地域内資源の循環・有効活用にも大きな役割を担っており、今後とも維持・発展を支える対策は重要である。			

【 2 次 評 価 】 対象 対象外

今後の方針	方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 休・廃止					
	意見等						